

平成三十年度

心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会

短歌作品募集

介護や支援を受けている六十歳以上の高齢者と高齢者の
介護を行っている家族や施設職員、ボランティア、医療・
介護を学んでいる学生の方々を対象に短歌を募集します。
お気軽にご応募ください。応募は無料です。



選者：伊藤一彦氏
(現代歌人協会理事)

【応募期間】

6/1 ~ 7/31 ※当日消印有効

応募先
問合せ

(社福)宮崎県社会福祉協議会 長寿社会推進センター「全国短歌大会募集」係
〒880-8515宮崎県宮崎市原町2-22 TEL0985-31-9630 FAX0985-31-9665
ホームページアドレス <http://www.mkensha.or.jp/choju>

主催／社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

後援／厚生労働省、宮崎県、宮崎県教育委員会、(社福)全国社会福祉協議会、(一財)長寿社会開発センター、全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会、(公社)全国老人保健施設協会、日本慢性期医療協会、(公財)全国老人クラブ連合会、(公社)全国老人福祉施設協議会、(公社)認知症のひと家族の会、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、(公財)宮崎県芸術文化協会、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社宮崎支局、南日本新聞社、宮崎日日新聞社、共同通信社、時事通信社、夕刊デイリー新聞社、福祉新聞社、NHK宮崎放送局、MRT宮崎放送、UMKテレビ宮崎

協力／シルバーケア短歌会「空の会」

平成二十九年 度 「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」 入賞作品

★要介護・要支援高齢者の部

(最優秀賞)

涙くん考える度流れでるもう泣かせるのやめてくれない

日下 末子 (八十八歳 宮崎県)

(優秀賞)

妻入院騒ぎのなかのダイヤ婚一人静かに祝い酒する

大寺 友一 (九十二歳 千葉県)

補聴器に足が有るか老いのぐちさがし物又一つふえたり

溝上 君江 (九十八歳 滋賀県)

片麻痺の吾(あ)を看とりくれ十四年二人の娘(こ)らは毎日「母の日」

田端喜美子 (八十四歳 和歌山県)

夫逝きて五人の子供育てしが偉い子はいぬが皆親おもい

三島リチエ (九十七歳 島根県)

銀色に街はたそがれ帰るべきわたしの路(みち)はどこにも見えぬ

藤本アサ子 (百歳 山口県)

若いねと云われて私下むいてお化粧直しを致します

鐘ヶ江壽娥子 (九十歳 佐賀県)

フィリピンの戦野に埋めし我が戦友(とも)に見せてあげたい今の世の中を

江波 道志 (九十五歳 鹿児島県)

まじろみてひぎより手帖すべり落ちいちようの押花はらりと落ちぬ

松村 サネ (九十三歳 鹿児島県)

卒寿宴(そつじゅえん)何の卒かよまあまだ白寿(はくじゅ)や茶寿(ちやじゅ)がお待ちでござる

岩切 光明 (九十一歳 宮崎県)

息子たち延命などと思ふなよ母の一世(ひとよ)は幸せだった

山崎百合子 (九十一歳 宮崎県)

★介護者の部

(最優秀賞)

ありがとうその一言(ひとこと)が胸ふさぐ母さんホントはつらいんでしょ

笹原 和美 (七十三歳 愛知県)

(優秀賞)

戦友はみんな死んだと百近き父の寝言は宙を揺蕩(たゆた)う

田中 啓子 (六十九歳 宮崎県)

長生きをすぎたと嘆く九十の軀のブラウス控えめの赤

河合小夜子 (六十八歳 宮崎県)

宇宙から地球の景色見るよりも百から見える景色が見たい

内藤さおり (三十八歳 宮崎県)

この短歌大会は、高齢者の生きがいや健康づくりを目的として、介護や支援を受けている高齢者とその家族や施設職員、学生の方から短歌を募集し、優秀作品の表彰や歌集の作成を行うものです。

昨年度は、全都道府県、海外(台湾、ブラジル)から、二二九三名、三八二二首の応募があり、百歳以上が二六名(最高齢は百五歳)、九十歳代は四五五名の方から応募いただきました。

また、この大会に寄せられた全員の作品(一人一首)を掲載した短歌集「老いて歌おう2017」(欽脈社出版)が刊行されています。ぜひ御覧ください。



老いて歌おう
2017



受賞記念品